



ウメモト インフォメーション



2020 年 5 月 28 日

担当者: 小村

JXTG 大分 製油所で火災

JXTG エネルギー
は 27 日、大分製油所
(大分市・常圧蒸留装
置能力 13・6 万バレル
第 3 常圧蒸留装置精留
塔で火災事故が発生し
たと発表した。

JXTG によると、
火災は 26 日午後 9 時 25
分頃に発生。ただちに
公設消防などの関係先
に通報するとともに自
衛防災組織を出動して
消火活動を行い、27 日
午前 5 時 35 分に鎮火を
確認した。負傷者はな
く、海上や河川への漏
洩も発生していない。
同製油所は現在定期
修理中で、常圧蒸留装
置を含む全装置が停止
していた。出荷には在
庫で対応しており、製
品供給に支障はないと
いう。

ロシアとサウジ、減産巡り調整継続で一致

[OPEC ヨーロッパ](#)

2020/5/28 5:23 | 396文字

📌 保存 📧 共有 🖨️ 印刷 🗣️ 📄 🐦 📘 その他 ▾

【モスクワ=小川知世】ロシアのプーチン大統領は27日、サウジアラビアのムハンマド皇太子と電話協議し、石油輸出国機構（OPEC）とロシアなど非加盟国の主要産油国で構成する「OPECプラス」の協調減産を巡り、緊密な調整を続けることで一致した。6月10日にOPECプラスのテレビ会議を控え、7月以降の減産量の維持を協議した可能性がある。

ロシア大統領府が発表した。プーチン氏とムハンマド皇太子は世界のエネルギー市場の状況について意見交換、4月のOPECプラスによる減産合意の意義を確認した。



🔍 画像の拡大

タス通信は27日、複数の関係者の話として、OPECプラスが7月以降の減産を現行の日量970万バレルで維持する方向で議論していると報じた。4月の合意では7月から2020年末まで日量770万バレルに減らす計画だった。ロシアは原油安の長期化で経済への打撃が深刻になっており、サウジと連携して減産強化を探るとみられる。

プーチン氏（右）とサウジアラビアのムハンマド皇太子は電話協議でOPECプラスの協調減産を巡る調整継続で一致した（2019年6月、大阪）=AP

ドバイ、貿易・観光に打撃 「脱石油」モデルの正念場に

【ドバイ＝岐部秀光】

【ドバイ＝岐部秀光】

世界の金融市場を揺さ

中東の「脱石油」改革の
お手本とされたアラブ首
長国連邦（UAE）ドバ
イの経済が苦境に陥って
いる。新型コロナウイルス
の感染拡大で、貿易や
観光が打撃を受け、経済
を支えた数十万人単位の
外国人労働者が出国の準
備をしている。同じUAE
を構成するアラブに
よる支援シナリオが浮上
するなど2009年の
「ドバイ・ショック」の再
来を懸念する声もある。
ドバイ中心部にある運
河には豪華ヨットが、何
週間も停泊したままだ。
UAEは27日から行動制
限を緩和したが、観光客
の姿は消え、きらびやか
だった街は静けさに包ま
れている。
英キャピタル・エコノ
ミクスのエコノミスト、
J・スワンソン氏は「ド
バイへの打撃が中東・北
アフリカで最も大きい。
アラブが再び支援に入
る可能性がある」と指摘
する。英調査会社IHS
マークイットによるドバ
イの4月のPMI（購買
担当者景気指数）は41・
7と、2カ月続けて節目
の50を下回った。
経済を支える外国人労働
者は仕事だけでなく、
航空便の停止で行き場を
失っている。UAEでは
20万人以上のインド人が
帰国希望に登録してい
る。

ドバイ空港は、英ロン
ドンのヒースロー空港を
おさえ世界最大の国際旅
客数を誇る。ドバイを拠
点とするエミレーツ航空
は「航空需要が正常化す
るまでには少なくとも18
カ月かかる」という。
10月に開幕予定で、関
係者が需要の下支え役と
して期待していた国際博
覧会（万博）は1年間の
延期が決まった。外国の
コンサルタント企業の助
言を受け入れ、貿易や金
融、観光を発展の柱に据
えたドバイ。貿易戦争や
保護主義台頭でグローバ
ル化の逆回転が起きるさ
なかに起きたコロナ禍
で、その発展モデルは真
価を問われている。

世界の金融市場を揺さ
ぶった約10年前の「ドバ
イ・ショック」の引き金
を引いたのは政府系投資
会社ドバイワールドによ
る唐突な債務返済繰り延
べ要請の発表だった。ド
バイの政府系機関が抱え
る債務は現在、国内総生
産（GDP）の8割に相
当する889億ドルに達し
ている。



ウメモト インフォメーション



2020 年 5 月 28 日

担当者: 小松

層所 シカ 7 6 月 生産減少の見通し 2018 年 8 月 以来 最低に

全 米

【「ニューヨーク」全米の主要シェール層7カ所の生産量が6月、2018年8月以来の最低水準まで減少する見通しが明らかになった。

原油を含めた全米の生産量を記録的高水準まで押し上げている。しかし新型コロナウイルスの大流行による需要の減少で市場が供給過剰になったため、石油企業各社は現在、生産量の削減を余儀なくされている。

各シェール層の生産量は、前月とくらべて19万7000バレル減の782万2000バレルになる見通しだという。全米最大の産油地パルミアン盆地在、429万バレルまで8万7000バレル減少する見込みとした。

一方、シェールガス生産量は6月、主要産地のアパラチアを中心に7カ月連続減少し815億立方バレルになる見通しだという。

シェール生産量は2013年以降、約2倍増加しており、在来型

EIA (米エネルギー情報局) によると、